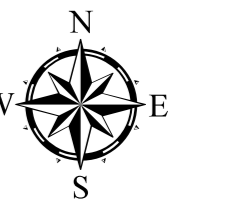


計算条件: 最高水面(零位)
隆起量: 平均 -0.01m(-0.02m ~ -0.01m)
Z0: 0.92m
備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



投影系:メルカトル図法
測地系:世界測地系(WGS84)



凡例

水位上昇(+10cm)となる等時線(分)

最大水位上昇

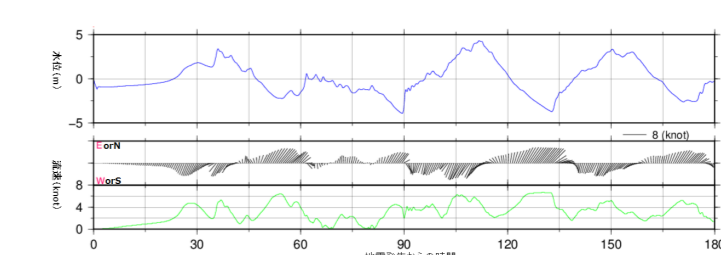
0.5~最大1.8m

0.5未満

経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

水位、流向、流速経時変化図



進入時最大流 [knot]

3 knot

2 knot

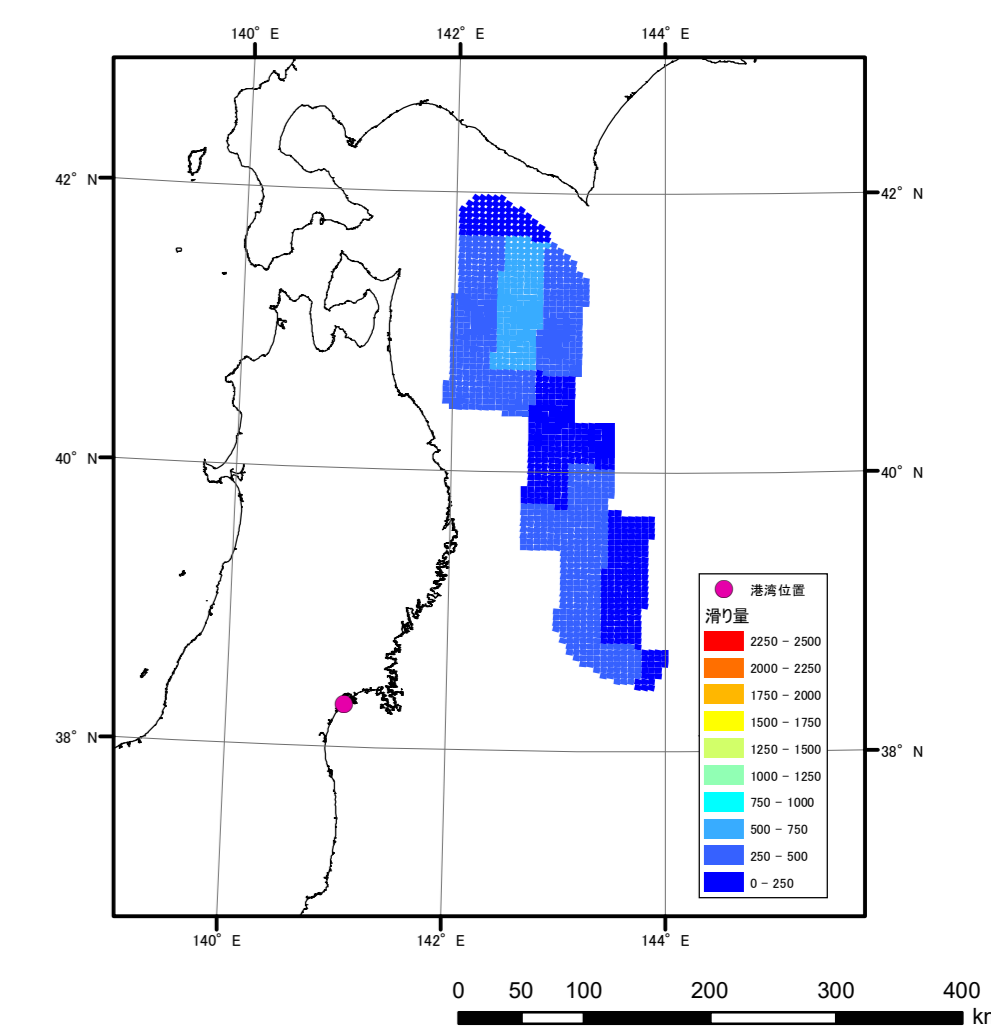
1 knot

津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を示している。

防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

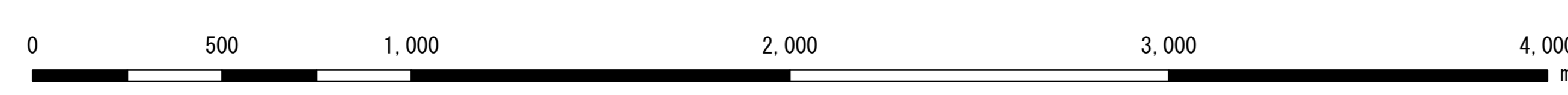
流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

断面モデル



三陸沖北部地震

モーメントマグニチュード Mw 8.4



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・基礎地図情報3mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像)(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平28情保 第1374号 平成29年3月10日)

本断面モデルは、平成19年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

作成機関: 海上保安庁
防災情報図作成年月: 平成29年9月(初版)
地形データ作成年月: 平成29年1月(初版)